

小林秀峰高等学校第2回卒業式を行ないました。・・・1日(木) 9:30～11:30

○在校生、先生方の万全の準備と、式に臨んだ全ての生徒たちの厳粛な態度で、素晴らしい心に残る卒業式となりました。青屋君の答辞も感動的でした。3年生の思いを1・2年生がしっかり引き継いでいくことでしょう。卒業式後の学級でのお別れ会も、学級の特徴がよく出ていて、みんなが別れを惜しんでいました。二期生は、社会に出て秀峰生としての自信と誇りを持って頑張るでしょう。



学級で卒業証書が手渡される



親子がとてもいい表情でした



第2回卒業生全員集合

※青屋爵君(電気科、新体操部主将)の答辞を HP で公開しています。感動を再び味わってください。

福祉科1年の臨地実習宣誓式を行ないました。・・・28日(火) 4限 福祉科実習室



生徒代表による宣誓

○今回は、3月5日(月)から14日(水)までの8日間、近隣の14施設に分かれて、介護実習を行ないます。前回と同じ施設での2回目で、3年間同じ場所での実習です。生徒の中には、実習先がそのまま就職先となる者もかなりいるとの話を聞きました。



学級担任の話を真剣に聴く

「いつも笑顔で介護される方の気持ちになって、一生懸命に実習に取り組んでほしい。」と話しました。☆学級担任からは、「あなたたちは、介護される方の生活をよくすることができる。その生活をよく観察して、どのような場面で笑顔が見られるかなど把握し、できることに積極的にチャレンジしてほしい。あいさつでも秀峰生らしさを示してほしい。」との話がありました。宣誓式には全員、マスクをして出席し、健康管理にも十分留意していました。実のある実習となることを期待しています。

＜福祉科の3年間の実習期間＞ ※3年間の合計52日

◇1年次(夏)4日、(3月)8日 ◇2年次(夏)8日、(10月)12日 ◇3年次(6月)10日、(夏)10日

平成23年度県西地区高等学校生徒指導連絡協議会第2回理事会を開催しました。・・・28日(火)

○本年度、本校が事務局となり、県西地区6つの高校が連携して高校生の健全育成に携わってきています。これまで、幹事会や警察との連絡協議会、中高連絡会、列車通学生指導、祭りの巡回指導など、20回余りの会合等に、井上生徒指導主事をリーダーに、本校生徒指導部が中心になって、関係学校が協力して取り組んできています。各校の先生方の連携・協力により、県西地区の生徒は、健全に育ってきているのではと思います。今回の理事会では、中学校への「新入学予定者へのお願い」の文書も確認しました。



事務局長による事業経過報告

以下の内容ですが、高校生は、もちろん、しっかり守っていると言えるようでありたいものです。

- 1 携帯電話(スマートフォンを含む)は、登下校時を含めて、学校内への持ち込みを禁止。
- 2 まゆ毛のそり込みや、髪の毛の脱色・染色、ピアスを禁止。
- 3 日常的生活態度を規則正しくしてください。

☆来週6日(火)と7日(水)は、高校入試です。生徒たちは、8日(木)までの3日間、自宅で与えられた課題(プリントで指示)にしっかり取り組むように、ご指導をお願いします。

ひとりひとりから豊かになる「小林」をめざして～小林市から始まる先進的地域活性化～

○26日(日)午後、小林市文化会館で、産学官連携事業として、「小林市活性化研究会」、「中央大学」、「小林市」が協同研究した結果報告発表等があり、多くの市民の方が熱心に聴き入っておられました。

◇調査研究報告発表「ひとりひとりから豊かになる「小林」をめざして」 中央大学 学生代表

◇基調講演「6次産業化は地域活性化に有効か？」農林水産省外食産業室長 山口 靖 氏

◇パネルディスカッション

◇小林市活性化宣言



6次産業化についての講演

☆中央大学の研究報告では、「農業を活性化の主役にしましょう」ということで

- ・6次産業化で農業を高付加価値化
- ・高付加価値化をPR戦略で実現
- ・PRでは、発信だけでなく「受信も」の提言がありました。総合制専門高校である本校が、6次産業化の取組を積極的に行なっていきたいものです。



パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、6次産業化において先進的に事業を展開されている方（外食産業：農産物の加工）や、地域資源を活用した体験ツアーなどの企画、運営を手がけている方（島根県石見）、コミュニティビジネスに取り組んでいる方、加賀野菜でブランド化に成功されている方など多種多様な方々から、小林を活性化するためのアイデアを聴くことができました。参加者のほとんどが中堅以上の方々と、高校生などの若者がたぶん全くいなかったのは残念でした。本校生もこのような会に積極的に参加して、小林を活性化していく人材に育ってほしいと思いました。

※6次産業・・・生産→加工→販売を一括して行なう産業のことです。

1年LHR（5・6限）に、県庁出前講座を開催しました。・・・23日（火）



質問に的確に答えていました

○前回11月に、2年生を対象に実施してもらいましたが、6次産業に関する内容をぜひ、農業科も加わった1年生に聴かせたくて、今回の実施となりました。農工商連携に関する分かり易くて興味深い話を熱心に聴いて、「なぜ、6次産業化が宮崎の活性化につながるのか」という

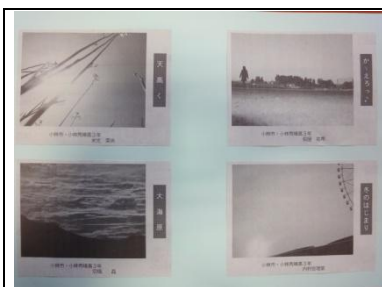


講師の方の熱の入った講演

質問などにも真剣に考え、素晴らしい答えを返していました。1年生の能力の高さに驚きました。

<講演で特に心に残った内容>・・・どの学科に対しても参考になるものではないかと思います。

- ・違う目で見れば、課題を解決できることがあり、お互いのメリットにもなる。
(農業で困っていることを工業が解決してくれる。：機器の開発がお互いのメリットに)
- ・色々なことが変わるときに、ビジネスチャンスが生れる。
(食生活が変わる。：冷凍食品の製造の増加。農産物の生産の在り方も変わる。)
- ・今まで経験や勘に頼っていたものをIT活用でデータ処理し、的確に対応できるようになる。



自然がテーマの写真部作品



玄関前に小さな春を見つけました



卒業式当日の心配りがここにも

「春の日の 飛び立つ鳥よ 嬉しかる 大きく翼け 夢に向かひて」・・・愛花人

○今年になって写真部の素晴らしい作品が10回、新聞に掲載されました。文化部も頑張っています。